

# 「日本小児救急医学会雑誌」投稿規程

2005年10月4日改定  
2006年6月16日改定  
2007年6月14日改定  
2008年11月11日改定  
2009年2月20日改定  
2009年6月18日改定  
2010年2月27日改定  
2013年7月8日改定  
2014年6月5日改定  
2016年2月11日改定  
2016年6月30日改定  
2016年9月8日改定  
2018年10月10日改定  
2019年2月2日改定  
2020年1月20日改定  
2021年5月30日改定  
2023年3月28日改定

日本小児救急医学会雑誌は日本小児救急医学会の機関誌であり、小児救急医学の進歩と発展ならびに救急医療の普及に寄与することを目的とするものである。本誌の英文名は“Journal of Japanese Society of Emergency Pediatrics” (J. Jpn. Soc. Emer. Ped.: JJSEP) とする。

## 1. 投稿内容

投稿論文は小児救急医学・医療の発展に寄与する創意に富んだもので、他誌に未発表のものに限る。

## 2. 投稿様式

総説、原著、症例報告、短報とし、その種目別を投稿に際し記載する。但し、最終決定は編集委員会が決定する。

## 3. 投稿資格

筆頭著者は本学会の会員に限る。ただし、編集委員会が認めた場合は非会員の投稿も受け付ける。著者の人数は原則10名以内とし、共著者の役割について「医学雑誌編集者国際委員会 (International Committee of Medical Journal Editors)」の規定に基づき、具体的に記載する。また、すべての共著者の自筆承諾書が必要である。

## 4. 論文の採否

投稿論文の採否は編集委員会の定めた2名の査読後、編集委員会が判断、評価する。

査読結果送付後1年間返事の無い場合は投稿を取り下げたものとみなす。

## 5. 論文の構成と長さ

発表論文は明解、簡潔を旨とし、以下の規定に従うこと。

### 1) 原著は以下の構成で記載する。

1 頁目に題名・著者名・施設名を和文と英文で記し、2 頁目に和文で要旨、キーワードを記し、3 頁目に英文で要旨・キーワードを記載する。

4 頁目から本文、文献、図表 (和文) の順に記載する。

### 2) 症例報告は原著に準ずる。

3) 短報は速やかな掲載を目的としたもので様式は症例報告に準ずるが、採択後は遅滞なく掲載するものとする。

4) 原著、総説の和文要旨は400字以内、英文要旨は400 words 以内で double space でタイプする。字数はタイトル、要旨、本分および文献、図・表などすべてを含め和文では刷り上がり8頁以内(16,000字以内)、枚数換算は題名・著者名・所属施設名の和英で1枚、和文要旨で1枚、英文要旨で1枚、図、表、写真はそれぞれ400字相当と換算する。症例報告は原著に準ずるが刷り上がり4頁以内(8,000字以内)とする。短報は刷り上がり1頁以内(2,000字以内、英文要旨は不要)とする。

5) カラー写真の掲載は自己負担扱いとなる。

## 6. 原稿の書き方

1) 原稿はワープロソフトを用いてA4判サイズに縦長横書き(エックス線フィルム、写真等はデジタルデータ)で、25字×32行で作成する。

2) 用語は現代かなづかいで、また医学用語以外は常用漢字とする。

3) 度量衡等はCGS単位に限る。

4) 外国の人名、地名は原語を用いブロックレターで記載する。

5) 医薬品名は原則として日本語または英語の一般名(generic name)を用いる。

6) 論文中で繰り返し使用する語は略語を使用しても良いが、その略語は正式略語または慣習的に使用されているものを原則として、初出の完全用語の後に( )で略語を使用する旨を明記する。

7) 図、表は挿入箇所を本文中に明記し、記載位置は末尾とする。

8) 原著の本文は、はじめに、目的、方法、結果、考察、結論の順とし、症例報告は、はじめに、症例、考察、結論を明記する。

9) 論文の中央下に頁数を記載する。

### 10) 文献の記載

- 文献は本文中に肩付けした引用番号順に配列する。
- 文献数は原著で原則30以内とする。
- 著者名は筆頭著者から3名を列举し、それ以上は「他」または「et al.」とする。
- 誌名略記は医学中央雑誌刊行会、医学中央雑誌収載目録略名表およびIndex Medicusに準ずる。
- 学会・研究会等の抄録は文献として認めない。
- 文献記載例

【雑誌】引用番号) 著者名: 題名. 雑誌名 発刊西暦年; 巻: 頁 - 頁.

〔例〕

1) 小関一英, 益子邦洋, 坂本哲也, 他: Trauma Registry 検討委員会活動と今後の展望. 日外傷会誌. 2004; 18: 394-399.

【単行本】引用番号) 著者名: 分担項目題名. 編著者名. 書名. 版. 発行所, 発行地, 発行西暦年, p 頁 - 頁.

〔例〕

2) 相原敏則: 画像診断. 坂井聖二・奥山真紀子・井上登生編著. 「子ども虐待の臨床 — 医学的診断と対応 —」. 初版. 南山堂(東京), 2005年, p 107-139

【英文雑誌】引用番号) 著者名: 題名. 雑誌名 発刊西暦年; 巻: 頁-頁.

〔例〕

3) Khan KS, Wojdyla D, Say L, et al: WHO analysis of causes of maternal death: a systematic review. Lancet. 2006; 9516: 1066-1074.

【英文単行本】引用番号) 著者名: 分担項目題名. 編者名. 書名. (巻). (版). 発行所. 発行地. 西暦年. p 頁 - 頁.

〔例〕

4) Spiess BD: Monitoring metabolic indices and coagulation/hemostasis. In: Blitt CD and Hines RL, eds. Monitoring in anesthesia and critical care medicine 3rd ed. Churchill Livingstone, 1990, p581-603.

【インターネット(ウェブ)からの文献】

著者名(わかれば), “ウェブページの題名”, ウェブサイトの名称, 入手先URI, (参照日付), とし, 著者は、数年間はデータを保存する

[例]

- 5) 日本小児科学会小児死亡登録・検証委員会, “子どもの死に関する我が国の情報収集システムの確立に向けた提言書”, 公益社団法人日本小児科学会, <http://www.jpeds.jp/modules/guideline/index.php>. (参照 2014-1-27)

11) キーワードは3～5語とする。

## 7. 論文の投稿

論文の投稿は電子投稿システム「Scholar One Manuscripts」

(<https://mc.manuscriptcentral.com/jjsep>) にて行う。

投稿の手順はホームページ学会雑誌の「オンライン投稿マニュアル」を参照のこと。

投稿の際は、投稿用テンプレートに準じて作成した本文、図表、共著者承諾書フォーム、著者全員分の利益相反自己申告書、チェックリストの提出を要す。

## 8. 校正

初校は著者校正とする。大幅な追加、削除は認めない。

## 9. 論文の著作権

本誌に掲載された論文の複写、転載、引用の許可の権限は日本小児救急医学会に帰属する。

International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE) が提唱する基準に則り、英文誌への Secondary Publication を認める。

## 10. 掲載料

- 1) 投稿原稿は規程に反しない限り掲載料は無料とする。
- 2) 別刷りは10部単位で自己負担とする。

## 11. 倫理規定

ヒトを対象とした研究に当たっては、ヘルシンキ宣言に基づくこと。その際、インフォームドコンセント、所属研究機関あるいは所属施設の倫理委員会ないしそれに準ずる機関の承認を得ていること。個人情報保護に基づき、匿名化すること。なお、十分な匿名化が困難な場合には、同意を文章で得ておくこと。症例報告においてもこれに準ずるものとする。

動物を対象とした研究に当たっては、医学生物学的研究に関する国際指針の勧告の趣旨にそったものとし、所属研究機関あるいは所属施設の倫理委員会ないしそれに準ずる機関の承認を得ていること。

上記の点に関して、倫理的配慮が論文中に明記されていること。また、承認機関名または承認施設名とその承認番号を必ず付記すること。

## 12. 利益相反

「臨床研究に関する利益相反管理指針」および「同 施行細則」に基づき、症例報告を含む臨床研究（医薬品、医薬部外品、健康食品、医療機器等）に関する論文は、利益相反を自己申告しなければならない。

- 1) 全ての著者は、投稿時に、「臨床研究に関する利益相反管理指針施行細則」に定める「投稿時利益相反申告書」（学会ホームページからダウンロード）により、利益相反状態を自己申告すること。
- 2) 利益相反関係（例：研究費・特許取得を含む企業との財政的関係、当該株式の保有等）の有無を本文末尾に明記すること。利益相反関係がある場合には、関係する企業・団体名を明記すること。

注) 利益相反に関する記載例

- 本研究は〇〇〇〇の資金提供を受けた。
- 〇〇〇〇の検討にあたっては、〇〇〇〇から測定装置の提供を受けた。
- 利益相反はない。

## 13. 「編集委員会への手紙」欄への投稿について

- 1) 編集委員会への手紙は、掲載論文の内容に関する意見、質問とし、原則として該当論文の著者からのそれに対する回答と共に掲載する。掲載の可否は編集委員会で決定する。
- 2) 掲載論文に関する質問・意見は900字以内、文献は3編以内までとする。  
回答は1200字以内（文献を含む）とし、図・表は掲載できない。
- 3) 掲載は原則として1回限りとする。掲載の採否は編集委員会が決定する。
- 4) 日本小児救急医学会雑誌編集委員会宛に E-mail (jjsep@convention-access.com) 添付で投稿すること。

#### 14. 投稿規程の改訂

投稿規程は編集委員会の議を経て改定することがある。但し、理事会の承認を要す。

「日本小児救急医学会雑誌」編集委員会

編集委員長 長村 敏生

副編集委員長 西山 和孝

編集委員 阿部 世紀 荒木 尚 家入 里志 市橋 光 井上 岳司

井上 信明 浮山 越史 柏木 充 草川 功 小松 充孝

発行人 長村 敏生